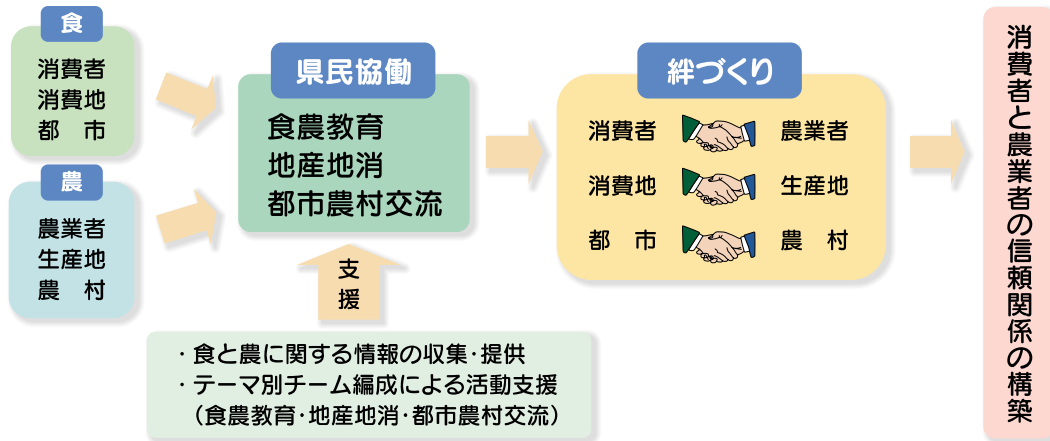


5 さが“食と農”絆づくりプロジェクトの概要

1 趣旨

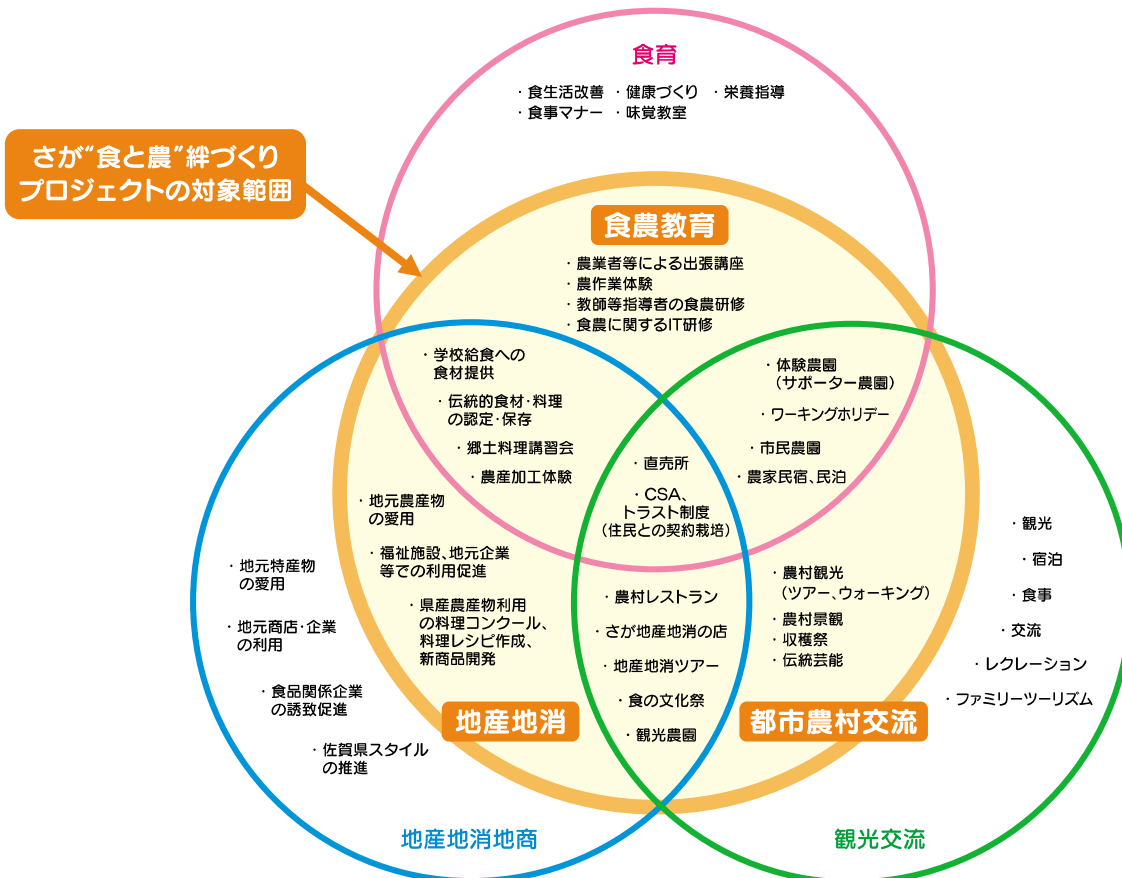
将来にわたって本県の農業・農村を振興し、食と農と環境が調和した豊かな県民生活を実現していくためには、農業者の創意工夫を活かした取組を基本として、消費者と農業者が、「食」と「農」について同じ意識を持って相互に理解を深め、信頼関係を築いていくことが重要です。

このため、県民に地元の農業・農村や農産物についての理解を促す「食農教育」や、地元で取れた農産物を地元で利用し消費する「地産地消」、都市住民が農村で楽しみ交流する「都市農村交流」を一体的に進める「さが“食と農”絆づくりプロジェクト」を県民協働で実行し、「食」と「農」の絆をつくりあげていくことを目指します。



2 実施期間

平成18年度から22年度までの5年間



3 推進項目

(1)消費者と生産者の相互理解を促す「食農教育」の推進

豊かな人間性を育む食の大切さや農業・農村の多面的な機能、さらには県産農産物に対する県民の理解を深めるため、農業者自らが農業に関する様々な体験の提供や食文化の伝承活動などの取組を進めることで、消費者と生産者の相互理解を促進します。

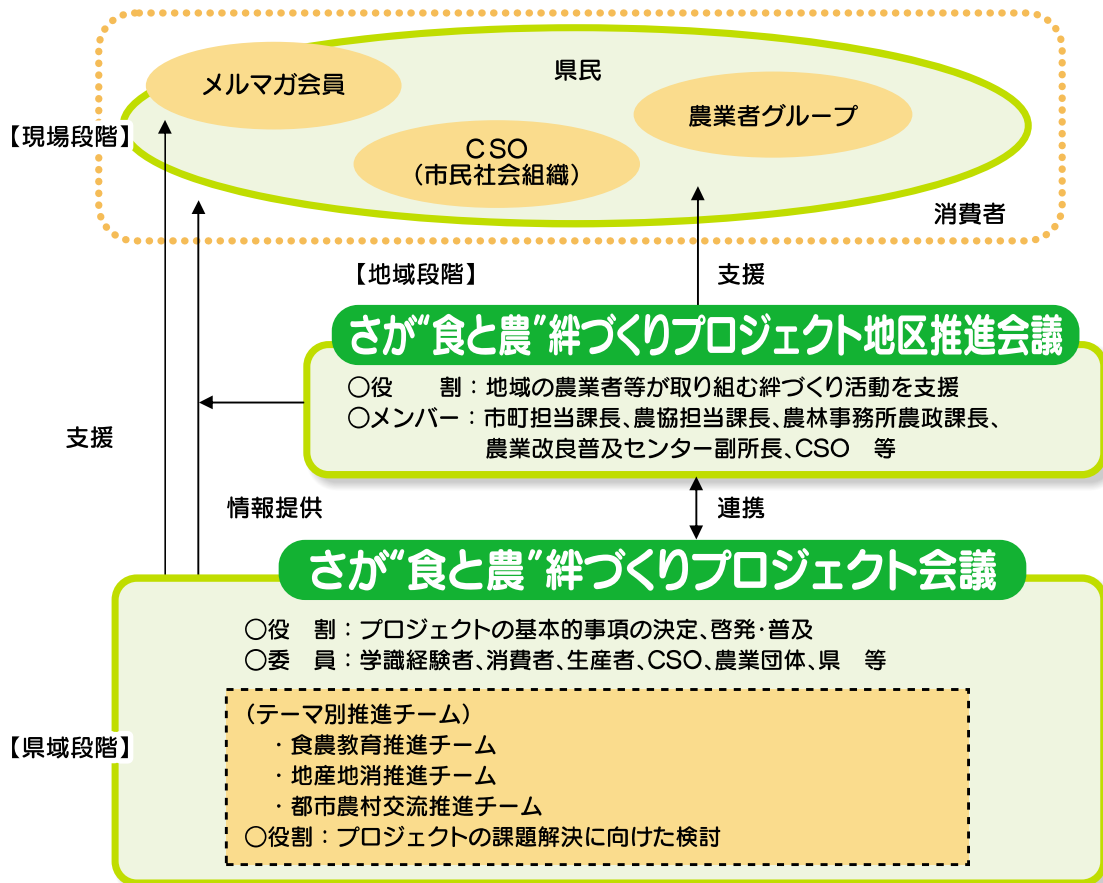
(2)地元の豊かな食を享受できる「地産地消」の推進

県内の消費者が、新鮮で安全・安心な県産農産物を購入・活用できる仕組みを構築するため、県内における県産農産物の消費拡大につながる情報の提供を図るとともに、生産者や農業団体等と農産物直売所、食品関連産業、飲食店、給食関係者等との連携による県産農産物の供給体制の整備を推進します。

(3)地域活性化につながる「都市農村交流」の推進

農業・農村の活性化を図るため、グリーン・ツーリズム資源の発掘や情報の提供、人材の育成を図るとともに、地域のネットワークづくりや農業と観光業が連携した取組を進めることで、都市住民が訪れたいくなるような魅力ある交流を創出します。

4 プロジェクトの推進体制



5 県民協働による“食と農”絆づくり活動の促進

地域住民・農業者、CSO(市民社会組織)等が自主的・継続的に実践する農業体験交流や地元食材を使った郷土料理の開発などの活動を支援します。

(1)ファーストステップ活動

“食と農”絆づくり活動の立ち上げ経費等への助成

(2)特別プロジェクト活動

新規性・広域性を有する“食と農”絆づくり活動への助成

さが地産地消アクションプランの検討メンバー

(さが“食と農”絆づくりプロジェクト「地産地消推進チーム」)

役職等	所属、氏名
座長	西九州大学教授 澤野 香代子
メンバー	千代田館 専務取締役 横尾美香 (プロジェクト会議委員)
〃	佐賀県栄養士会 松本善生 (社会保険病院)
〃	佐賀県栄養士会 蒲池千草 (春日園)
〃	佐賀県学校栄養士会 理事長 百武裕美 (佐賀市立新栄小学校)
〃	佐賀県学校栄養士会 福山隆志 (多久市立南部小学校)
〃	佐賀県飲食業生活衛生同業組合理事長 澁田正則
〃	佐賀県旅館生活衛生同業組合専務理事 日浦真人
〃	佐賀県消費者グループ協議会長 東島美恵子
〃	佐賀県学校給食会常務理事兼事務局長 江頭功
〃	佐賀県学校給食納入組合連合会長 品川孝治
〃	(株)佐賀青果市場取締役業務部長 下村哲也
〃	協同組合アルタ・ホープグループ 販売促進企画室長 池田龍二
〃	“食”と“農”を結ぶ佐賀県農村起業ネットワーク会長 山口千春
〃	道の駅大和「そよかぜ館」会長 小野善隆
〃	J Aさが営農企画部次長 山田勝彦
〃	佐賀県農業協同組合中央会水田農業対策課長 杉原浩樹
県	流通課、農産課、園芸課、畜産課、体育保健課、健康増進課、 くらしの安全安心課、農業技術防除センター (事務局)生産者支援課

順不同、敬称略 * 所属等は H21.3 時点



アグリちゃん フードくん

さが“食と農”絆づくりプロジェクト

<http://www.kizuna-saga.jp>

発行 平成 21 年 3 月

さが“食と農”絆づくりプロジェクト会議

(事務局：佐賀県生産振興部生産者支援課)

佐賀市城内 1-1-59

TEL 0952-25-7115 FAX 0952-25-7271

E-mail kizuna@pref.saga.lg.jp

